

【 養育園 】

1 改善状況で評価できる点

- (1) 権利擁護及び虐待防止の取組
 - ・虐待防止委員会を権利擁護委員会として、虐待防止だけでなくサービスの質の向上まで扱うこととするなど、幅広い権利擁護の取組みに努めている。
 - ・チェックシートの改訂などにより、権利擁護及びサービスの質の向上に努めている。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
 - ・第3寮において、ベランダの開放時間を延長する他、利用者自身が防犯を意識して窓を開閉するように対応を変更するなど、利用者本人が的確な意思決定を行えるように取り組んでいる。
 - ・環境改善に積極的に取り組む意識が向上しつつある。
- (3) 職員の資質向上と人材育成
 - ・昨年度末に実施した職員アンケートにより、外部の施設見学など、職員が希望する研修の実施に努めている。
 - ・支援にどう活かしていくかという視点を重視した研修の実施に努めている。
- (4) 支援現場の透明性の確保
 - ・パーソナルサポーターの受入れ、第三者委員や特別支援学校教員の巡回など、外部の目を入れるよう引き続き努めている。
 - ・幹部職員や同僚と気軽に話せる風通しのいい雰囲気の醸成に努めている。
- (5) 地域生活移行
 - ・移行先施設との会議など、関係者間で連携して利用者を円滑に移行させるための取組みが見られた。

2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 権利擁護及び虐待防止の取組
 - ・職員の意識啓発の取組みを今後も継続して行うこと。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
 - ・本人のニーズと障害特性を考慮して、支援の質の向上に引き続き努めること。
 - ・個別支援計画の長期目標と短期目標の整合を図り、利用者の卒園後の生活設計も含めた長期的な展望のある支援に努めること。
 - ・日常生活の場としての環境改善の取組みの深化を図ること。
- (3) 地域生活移行
 - ・保護者、学校、市町村など、関係者の連携を深化させ、円滑に利用者が移行できるように努めること。

袖ヶ浦福祉センター改善措置進捗状況調査（概要）

【 更生園 】

1 改善状況で評価できる点

- (1) 権利擁護及び虐待防止の取組
 - ・虐待防止委員会を権利擁護委員会に変更し、虐待防止だけでなくサービスの質の向上まで議題として扱うことにするなど、幅広い権利擁護の取組みに努めている。
 - ・施設長からグループミーティングにおける職員の意見についてコメントするなど、職員の意見を反映させた改善に努めている。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
 - ・保護者の提案を受け、専門業者による車椅子の保守点検の定期実施を検討するなど、利用者の生活の質を向上するための取組みに努めている。
 - ・環境改善に積極的に取り組む意識が向上しつつある。
- (3) 職員の資質向上と人材育成
 - ・スーパーバイズ研修を引き続き実施するなどして専門性の向上を図るほか、昨年度末に実施の職員アンケートにより職員が必要とする研修を把握し、その実施に努めている。
 - ・職員の目指すキャリアの実現に向けた資格取得のための研修を受講させるなど、研修受講とキャリアアップをリンクさせる取組みを始めている。
- (4) 支援現場の透明性の確保
 - ・保護者による更生園内見学など、様々な形で外部の目を入れるよう努めている。
 - ・役員会職員会を定例化するなど、家族との関係強化に努めている。
- (5) 特別な支援を必要とする利用者への支援
 - ・ダウン症の方が認知症になった場合の支援手法をまとめ、更なる支援の質の向上に努めるとともに、他の施設にも支援ノウハウを提供するための取組みをはじめている。
- (6) 強度行動障害のある利用者への支援ノウハウの活用
 - ・強度行動障害支援検討会等の開催に際して、メールによる周知など、ノウハウが幅広く活用されるよう努めている。

2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 権利擁護及び虐待防止の取組
 - ・職員の意識啓発の取組みを今後も継続して行うこと。
- (2) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
 - ・親しみ易く開放的な住環境となるよう、環境改善の取組みの深化を図ること。
- (3) 職員資質の向上と人材育成
 - ・リーダー等の育成に際してメンタル面のサポートも考慮すること。